



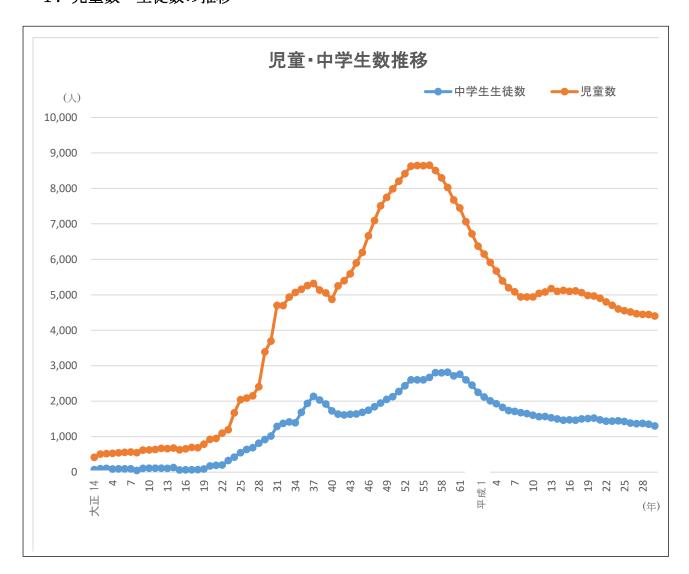
NO. 24

発行日 2020 年 3 月 30 日 編集=くにたち図書館地域資料ボランティア 発行=くにたち中央図書館

テーマ

『国立の公立小中学校』(沿革編)

1. 児童数・生徒数の推移



2. 公立小学校

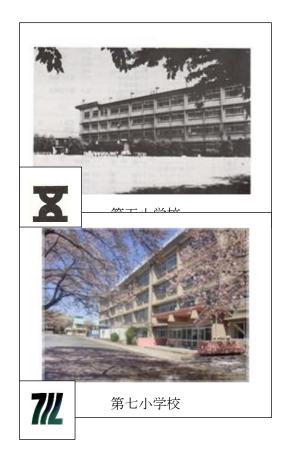
2-1 校舎と校章













2-2 校章由来

1) 一小

古い校章は大正6(1917)年に制定された、深い梅鉢をモチーフにしたものであった。

現在の校章は昭和 28 (1953) 年の 80 周年記念時に制定された。梅のかたちは、地域の代表的な花である白梅がモチーフであり、校歌に歌われている「明るく、清く美しく」という思いが込められている。黄色や赤の配色は「元気で明るい」子どもたちを表現している。

校旗の下地は緑色で、本校のシンボルツリーであるヒマラヤ杉と城山をはじめとした地域の自然を表している。

2) 二小

創立二周年(昭和 26 年)に際して、一般公募してデザインを決めた。原作者は島清さん(当時 二小児童の保護者)で、昭和 26 (1952) 年 11 月 1 日に定められた。

校章のいわれは、校庭から望む霊峰富士を外側に表し、内側に市の花「桜」をデザインした。 中心に図案化した文字で国立二小を表した。

3) 三小

昭和29(1954)年、二小分校が独立し国立第三小学校として開校した時に、当時の先生によって校章が作られた。

三小の『三』にちなんだ三つの桜の蕾を配している。

4) 四小

昭和 32 (1957) 年、二小分校が国立第四小学校として独立する際に国立町教育委員会が公募、 決定した。作成者の香川敏正さん(当時西在住)は、デザインの意図を「文教地区、天満宮の梅を もとに国と四を組み合わせ、オシベ・メシベをあしらった」と語っている。

5) 五小

作成者は二代目校長の岡本隆さん。

図形は国立第五の「五」の字を、方形は団地構造をそれぞれイメージしている。

「孤の交わりは、お互いの和を/直線は強い子、曲線はやさしい子を/葡萄色は叡智を求めて」との願いがこめられている。

6) 六小

校章は、昭和52 (1977) 年公募により決定。みんなで考え三つの候補から投票して選び、一位のデザインをもとに今のようになった。原案は、渡邊武夫氏、仕上げは、岡本隆氏で、次のような意を表した。

梅の花(市章) 勉学の心 富士山 気高さとたゆまなき向上 矢川の流れ 順応と行動



色(コバルトブルー) 平和と希望を

7) 七小

昭和50(1975)年、デザインを児童・保護者・教職員から公募して制定された。

40点の応募の中で3回にわたる審査をし、当時の第二小学校岡本隆校長に最後の審査として仕上げを要請し、決定した。

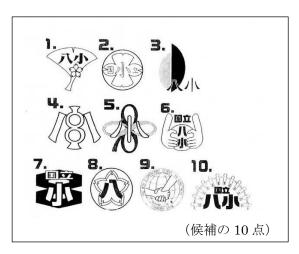
シンボルは全体で国立第七小学校を表しており、流動感あるデザインは自由と永遠性を意味している。色はネプチューンブルーで、深さと力を示す。

8) 八小

平成14(2002)年3月に制定された。

校章のデザインは、八小の児童、教職員、保護者、地域の方を対象に公募し、応募作品 48 点のうち 10 点を候補としてアンケートを行い、3 点に絞った。実行委員会で検討した結果、現在の校章が決定した。

縦の8は八小の8を、横の∞は子ども達の無限 大の可能性と未来を、二つが組み合わさった四つ 葉のクローバーは平和・幸せ・温かさ・明るさを 表している。



2-3 学校教育目標

1) 一小

自分で考え 進んで活動する子 力を合わせて 高め合う子 思いきり体を動かし 元気な子

2) 二小

知 かしこく 意欲的に学ぶ子 よく考える子

徳 あたたかく 仲間と共に成長する子 全ての命を大切にする子

体 つよく 健康でたくましい子 目標をもってやりぬく子

3) 三小

- ○思いやりのある子
- ○考え実行する子
- ○健康でたくましい子

4) 四小

- ○よく考え 進んで学ぶ子(知)
- ○自分も友だちも 大切にする子(徳)
- ○正しく判断し 行動できる子(徳)
- ○体を鍛え 最後までやりぬく子(体)

5) 五小

学びあう子

自ら学び、自ら考え、共に高め合い正しく判断できる子を育てる 助けあう子

思いやりがあり、かかわり合い働きかける心豊かな子を育てる きたえあう子

心と体を鍛え、磨き合い健やかに伸びる子を育てる

6) 六小

よく考える子 勉強がわかる・できるを感じる学校 なかよく助け合う子 友達と関わることが楽しい学校 元気でたくましい子 豊かな心と健やかな体を育てる学校

7) 七小

かしこく(知) やさしく(徳) げんきよく(体) 子供たちの「未来を拓く力」の育成のために <チーム七小としての使命>

今日一日の学びが子供たちの未来に繋がっていることをしっかりと自覚し、切磋琢磨して常に 向上していく教員集団となること

8) 八小

- ○よく考え、進んで行動する子ども
- ○仲良く助け合い、よく働く子ども
- ○健康でたくましい子ども
 - ・常に「心」と「体」が健康である
 - ・「感謝」と「尊重」の意識をもつ
 - ・人を大切に
 - ・時間を大切に
 - ・元気な「あいさつ」
 - ・明るい「笑顔」

2-4 学校沿革

1) 国立第一小学校 (谷保栗原 6026)

	年	学校名	事項
	5		学制頌布
	6	潤沢学舎(神奈川県第 114 番学校)	開校(学童 30 名前後、先生 1 名) 校舎は谷保 7082 番地の杉田吉左衛門宅の 蚕室 開校記念日 9月 25 日、谷保村 282 戸
	9	谷保小学校	
	16		現在地に新築移転
明	19	谷保尋常小学校	
治	25	谷保尋常高等小学校	三カ年修業の高等小学校を併置(児童数、 尋常科 149 名、高等科 18 名)
	26		三多摩が神奈川県から東京府へ編入
	31		高等科の修業年限が4年となる
	40		児童3名、校庭にあった堀井戸が崩れ、土 砂に埋もれて死亡。南養寺に慰霊碑がある
	41		学制変更、尋常科を義務教育として6年、 高等科が2年となる
大	4		谷保村に電気がひかれる
正	6		校章がつくられる
	16	谷保国民学校	国民学校令により校名変更
	19		南養寺に赤坂区 (現港区) 氷川小学校児童 百余名が学童疎開
	22	谷保小学校	新学制により校名変更、男女共学、新制中 学が発足
昭和	24		東に分校竣工(国立地区の 3 年生以下の 児童が異動
	25		分校(現在の第二小学校) の児童 784 名が 異動独立して国立小学校となる(682 名と なる)
	26	国立第一小学校	町制施行により校名変更、国立小学校は国 立第二小学校となる

国立町町制施行以降

	年	事項
	26	増築工事が行われた
	28	80 周年記念式挙行。校歌(作詞:原田
		重久、作曲:清瀬保二)、校旗、校章を
		制定
	38	創立90周年記念式典挙行。
	40	防音校舎が竣工(42年完成)
昭	42	市制施行により国立市立第一小学校と
和		校名変更、鉄筋校舎完成(現在の校舎)
1	43	明治百年の記念として蒐集された民具
		の整備を行う
	44	プール完成
	45	六小開校にともない、青柳、四軒在家の
		121 名の児童転出
	47	七小開校にともない、下谷保の94名の
		児童転出



開校当時の潤沢学舎



昭和 30 年代の校舎

	48	百周年記念式典挙行、記念誌「谷保」発
		行、庭園式岩石園・噴水完成・郷土資料
		室棚完成
	49	体育館完成
	56	ねむの木学級始まる
	57	特別支援学級(杉の子学級)開設
	63	校舎大規模改修
	元	体育館大規模改修
		77 77 77 77 77 77
	6	造形砂場設置
	6	創立 120 周年記念誌「私たちの谷保」
		発行
	15	コンピュータ室完成
	16	国立市特色ある学校づくり推進事業指
		定校研究発表
	16	創立 130 周年記念誌「谷保とともに」
'		発行
戊	20	耐震工事完了
	22	創立百周年に作成した年表を改修
	22	郷土資料コーナー設置
	22	環境教育優良賞
	23	東京都教師養成指定校
	24	エアコン工事(全教室配備)
	25	創立 140 周年記念式典挙行、記念誌「ふ
		るさと谷保」発行
平成	20 22 22 22 22 23 24	創立 130 周年記念誌「谷保とともに」 発行 耐震工事完了 創立百周年に作成した年表を改修 郷土資料コーナー設置 環境教育優良賞 東京都教師養成指定校 エアコン工事(全教室配備) 創立 140 周年記念式典挙行、記念誌「&



現在(S25)

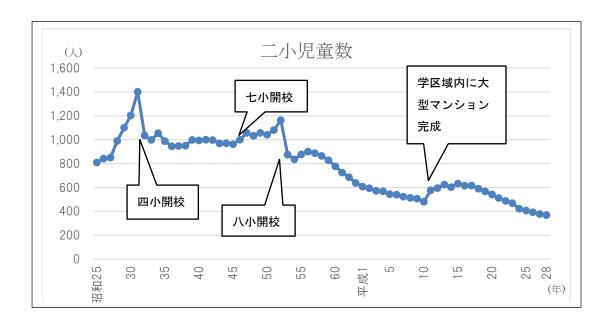


創立 100 周年(S48)



2) 国立第二小学校 (西 2-13)

	年		事項
	24	谷保小学校の分校として開校	
	25		どとして開校(児童 796 名、教職員 17 名)
			校(今の一中)校舎をそのまま使用
	26	町制施行により国立第二小学校と	校名変更、東区に分校設置(後の三小)
	26	校章制定	
	27	校歌制定(作曲:岡本敏明、作詞]:原田重久)
	28	人数増え、一学期は一部の学年が	、午前・午後の二部授業を行った
	29	東区分校が国立第三小学校として	独立
	31	北区に分校設置	
	32	北区分校が国立第四小学校とし	
昭		て独立	
和	38	鉄筋校舎完成	
	39	牛乳給食始まる	
	42	市制施行により国立市立第二小	
		学校と校名変更	
	43	事務室(会議室)と校長室が全	開校当時の木造校舎
		焼する(12月)	二小開校当時の木造校舎(S 26)
	44	プールが完成	二小州仅当时97不追权音(320)
	45	体育館が完成	
	53	八小開校による学区域変更で児	
		童 312 名移籍心身障害学級出来	The second second
	10	る、児童数6名(平成元年閉鎖)	
	12	低学年用雲梯ができる	
	15	コンピュータールーム完成	
平	19	屋上庭園完成	
成	20	校舎耐震工事完了	The state of the s
1,54	22	校庭にポール時計を設置	創立 60 周年 (H22)
		創立60周年記念式典挙行、記念	/ду. 2. 00 /ну Г (1122)
		誌発行	
1			



3) 国立第三小学校(東 4-24-1)

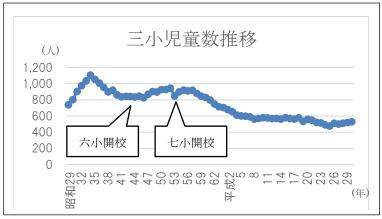




	年	事項
	26	国立第二小学校の分校として、東区に設置
		学区域は、大学通り東側、富士見台団地以北一帯、及び一橋大学周辺地域
	29	第三小学校として独立開校、開校記念日は4月15日
		開校当初は児童 738 名、校舎の関係で一年と二年の二部授業
	30	職員、児童ロードローラーにて協力して校庭整理作業を行う
	31	全校歌の募集が行われた
昭	32	校歌発表(作詞:谷淑子、作曲:大中寅二)
和	39	観察池完成
	42	市制施行により国立市立国立第三小学校と校名変更
	44	プールが完成
	45	国立第六小学校開校にともない 121 名の児童転出
	50	鉄筋 4 階建て防音校舎竣工
	51	体育館竣工
		国立第七小学校開校にともない94名の児童転出

	54	全普通教室にカラーテレビ設置
平	4	観察池浄化装置設置
成	15	創立 50 周年記念式典挙行
	20	体育館耐震補強工事完了
	21	校舎耐震工事完了
	25	創立 60 周年記念式典挙行





4) 国立第四小学校(北2-29)

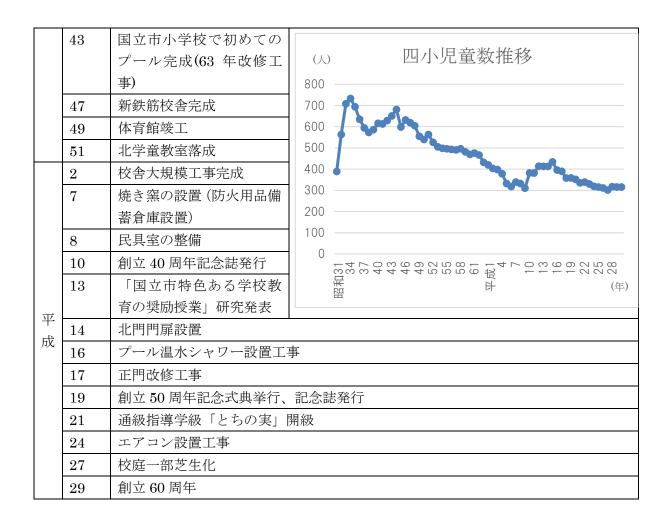
国立市のJR 中央線の北側にある唯一の公立学校である。





国立市の中央線北側に昭和 29 年から 32 年にかけて、青柳都営住宅(第五:50 戸、第六 36 戸、第七 133 戸、第八 28 戸、第九 100 戸)、公団住宅(206 戸)と住宅が増加した。この問題解決のため、現在地に学校の新設を決めた。(国立市学校教育要覧平成7年度による)

	年	事項
昭和	31	国立第二小学校の北分校として9月に開校(4年生以下8学級、389名)
	32	国立第四小学校として独立開校(児童 563 名、学級 14、二部授業)開校記念日 4 月
		25 日、校章を公募で決定、8 教室増設、12 月二部授業解消
	34	校歌の作詞募集、作詞:真下政安校長、作曲:日野正雄教諭
	42	市制施行により国立市立国立第四小学校と校名変更



5) 国立第五小学校(富士見台 2-47-2)



第五小学校開校時(S40)



50周年記念航空写真(H27)

昭和 40(1965)年 11 月 1 日 国立町立国立第五小学校として、国立谷保地区の南武線北側に公団住宅 2300 戸が誘致・建設されるに伴い、急増する児童を収容するため誕生した。開校時は児童94 名、7 学級。全児童の84%はそこへ移住している。残りの16%も住宅に随伴してできた商店、あるいは新興住宅への移入者であった。(国立市学校教育要覧昭和46 年度による)

通学区域は、南武線北側の富士見台区画整理地域内の児童生徒となっている。新設費は、一部を

除いて住宅公団の費用で建設した。昭和 42、43 の両年度に国庫補助、起債、一般財源で買い取る計画であった。

	年	事項		
昭	40	国立町立国立第五小学校として開校、開校記念日 11 月 1 日		
和	42	市制施行により国立市立第五小学校と校名変更		
		校舎増設工事開始		
	44	プール完成		
	45	六小開校で一部の児童が六小へ転出		
	46	児童は1,158名、30学級でプレハブ校舎が4教室増築、体育館が完成		
	50	プール移設完了		
	51	学区域変更で六小から 133 (人) 五小児童数推移		
		名編入、五小から七小へ 288 1,400 六小開校		
		名転出 1,200		
	53	学区域変更(一部児童が三小 1,000 1,000		
		六小より編入) 800		
	55	校地南側境界線変更 600 — 600		
	60	校歌制定(作詞:中村重三郎、 400 七小開校		
		作曲:中村祥子) 200		
	62	校舎大規模改修工事完了		
	8	ウサギ小屋、池改修工事 08962589 程		
	10	耐震補強工事		
平	12	メディアルーム完成		
成	15	学力向上フロンティア事業研究報告会		
/-/-	21	全国小学校理科研究大東京大会研究発表		
	25	東京都言語能力向上推進校研究発表会		
	27	創立 50 周年記念誌発行		

6) 国立第六小学校(谷保 6600)



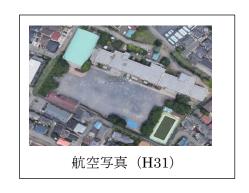


国立一小・五小の児童の急増と、都営矢川・青柳団地の入居を見越して設立された。校庭予 定地を流れていた矢川の流れを変えて設置。

	年	事項		
	45	開校(一小・五小より児童 305 名編入、新1年生 123 名、合計 428 名 14 学級)		
		開校記念日4月30日、プール完成(4月)		
	46	児童 683 名、19 学級と増加は続く、体育館完成		
	51	第七小学校完成に伴う学区域		
昭		変更で五小へ133名移籍 六小児童数推移		
和	52	公募により校章決定、11月26 1,400		
7 H		日 マラソン大会 1,200		
	53	第八小学校完成に伴う学区域 1,000 八小開校		
		変更で二小・五小へ 73 名移籍 800		
	55	矢川小橋完成(10 周年記念・ 600		
		父母会より寄贈) 400 七小開校		
	元	矢川親水工事開始 200		
平	3	矢川親水上事終了(字校部分)		
成		自然観察池完成 0		
	6	校舎南側に池と水田完成		
	7	体育館改修工事完了		
	12	創立 30 周年		
	13	ねむの木学級発足		
	17	校歌完成(作詞・作曲:杉本竜一)校旗決定		
	22	体育館耐震工事完了		

7) 第七小学校(富士見台 1-47-7)



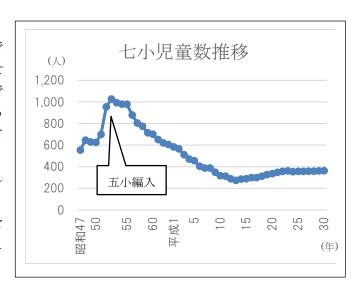


	年	事項	
昭和	47	開校(児童 559 名、16 学級)開校記念日 4 月 27 日、プール完成(7 月)	
	48	体育館完成	
	50	校章制定	
	51	学区域変更により五小より編入 289 名、児童 995 名、26 学級となる	
	52	南学童保育所、校地内に設置開所	

	2	校舎大規模改修工事完了
	4	校門設置工事
	5	言語障害学級開級式 (通級)
	6	校舎南側に池および水田完成
	7	愛鳥モデル指定校
	12	ことばの教室、教育委員会より七小へ移設
	12	パソコンルーム開設
平	13	教育相談室開設
成	20	校歌制作(作詞:谷川俊太郎、作曲:谷川賢作)
	22	校内 LAN システム工事完了
	24	創立 40 周年記念誌発行

谷川俊太郎からメッセージ

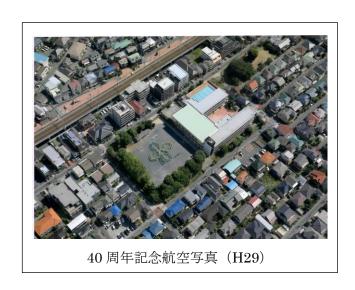
校歌は、言葉を書いた俊太郎のものでも、曲を書いた賢作のものでもありません。校歌は、歌ってくれるみんなのものです。楽しく元気に歌ってもらいたい、歌って国立第七小学校をもっと好きになってもらいたい、そう願ってぼくたち二人は、この歌を作ったのです。そしてもしかして、みんなが賢作くらいの年になっても、俊太郎くらいの年になっても、この校歌を覚えていてくれたら、こんなにうれしいことはありません。



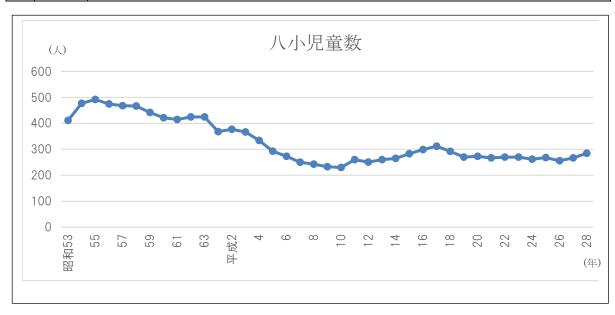
8) 国立第八小学校(中1-3-1)



30周年記念航空写真(H19)



	年	事項
	53	開校(開校当初の児童数は二小から移籍した二年生から五年生の 312 名、一年生
		108 名、計 420 名)なお、同 53 年 4 月に新しい国立市小学校通学区域が編成さ
昭		れ、他小学校でも一部の新六年生を除いて移籍の見直しが行われた(S53.1.5 市報
和		くにたち) (*40周年の記述は、1年生98名、全児童数は411名)5月に体育館、
4.11		プールも完成
	54	開校記念日を制定【5月4日】
	61	教室の透明ガラス化工事
	3	石灰倉庫・園芸倉庫設置
	7	陶芸窯(電気)設置
	9	体育用砂場設置
	11	創立 20 周年記念誌発行
	14	コンピュータ室完成、校章制定、北校舎耐震及び大規模改修工事
	15	1月校歌制定(作詞・作曲:遊佐未森)
	16	7月育成会主催「デイキャンプ」実施、日時計設置
平	17	東京都「情報モラル教育実践モデル校」
成	19	特別支援学級「さくら」開設、創立 30 周年記念誌発行
	20	都小学校体育研究会多摩地区研究発表
	22	校門校章プレート設置(寄贈)
	24	図書室データベース化、ガスヒート式エアコン設置工事終了
	26	東京都教育委員会よりオリンピック・パラリンピック教育推進校言語能力向上拠
		点校として指定
	28	言語能力向上拠点校発表会
	29	国立市教育委員会研究奨励校研究発表(理科・生活科・生活単元)
		校庭校旗掲揚塔校旗掲揚(6年生児童)
	30	創立 40 周年記念運動会・学芸会・式典実施、記念誌発行



3. 中学校

3-1 校章とその由来







1) 一中

本を文化の基本として記し、国立の雑木林に咲く山百合を平和の象徴として添える。文化国家 を目指す人間形成を求める。

2) 二中

文化の象徴であるペンと強くやさしい鳩の翼を図案化して、真に平和を愛し、未来に飛躍する 翼をあらわす。昭和33年5月20日制定。

3) 三中

国立市の市章と、学区周辺に多い梅をかたどり、地域への連帯感を高めるととともに、忍耐力・ 情操・質実剛健等の梅に象徴される特性を、生徒が身に付けてほしいとの願いをあらわした。

3-2 学校教育目標

1) 一中

たくましい心豊かな人間をめざして

- ・自ら学び、考え、自主的な行動をしよう
- ・ 豊かな創造力を養おう
- 思いやる心をもとう
- ・健康な心身をつくろう

共生社会実現に向けた「共学」 (共に学ぶ)

「共感」「共育」による学舎の創造

2) 二中

たくましく現代に生き、平和で幸福な未来社会を創造する 人間性豊かな生徒の育成を目指す。

- ○よく考え進んで学習する生徒
- ○思いやりをもち協力する生徒
- ○自らの心と体をきたえる生徒
- ○正しく判断し実行する生徒

3) 三中

- ○自ら考え正しい判断のできる人
- ○強い意志をもって実行できる人
- ○思いやりの心をもって助け合う人
- ○心身を鍛える人

めざす生徒像

- 1 主体的に学ぶ生徒
- 2 自己実現に努める生徒
- 3 励まし合い支え合う生徒
- 4 自らを磨く生徒

3-3 学校沿革

1) 国立第一中学校(東 4-24-1)

国立市の東・中の全部と北・富士見台の一部を学区域とする。その大部分は昭和27年指定の文教地区に含まれる。



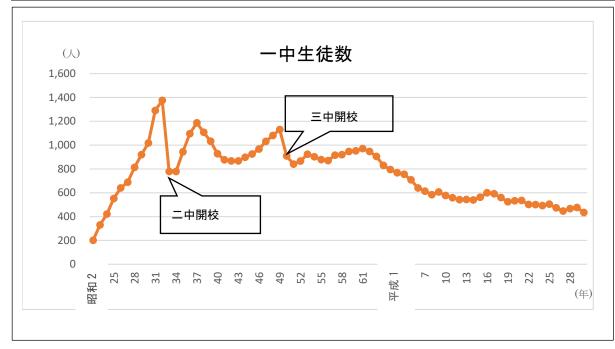
一中旧校舎



左:国高 中央:一中 右:三小

	年	事項							
	22	新制中学校として北多摩郡谷保村立谷保中学校として開校(開校時生徒数 203 名							
		校舎はなく、入学式は谷保小学校の講堂を借りて挙行、1年生は都立第五商業高等							
		学校、2、3年生は都立国立高等学校を借りて行った							
	24	新校舎落成移転(現国立第二小学校の場所に設立)							
	25	国立東区の東京消防学校(昭和20年開設)跡地の払い下げを機に、谷保中学校は、							
II77		現在の第一中学校の場所に移転し、国立西区の校舎を新設の二小学校に譲る							
和和	26	東京都北多摩郡国立町立国立中学校と校名を変更							
	27	校旗・校歌制定(作詞:原田重久、作曲:岡本敏明)							
	30	教室の増設工事が行われた							
	32	国立中学校分校を開設							
	33	東京都国立町立国立第一中学校と校名を変更							
	37	心障学級開級、鉄筋校舎落成 (現在別館)							
	43	体育館(東区公会堂)全焼							

	44	体育館落成						
	48	鉄筋校舎落成						
	50	国立第三中学校が開校し、学区域変更で二年生 102 名が移籍						
	8	新標準服移行						
	12	校舎耐震補強工事						
	14	道徳授業地区公開講座開始						
平	17	校庭散水設備工事						
一成	19	創立 60 周年						
JJX	23	体育館耐震改修工事完了						
	24	エアコン設置						
		校庭芝生化(中庭)						
	27	校舎外壁工事						



2) 国立第二中学校(富士見台 3-30)

国立の西部、甲州街道の北方約1km に、位置し、新しい都市計画の住宅とわずかに残った畑地が点在する中にある。学区域は国立市を東西に折半した西半分にある。





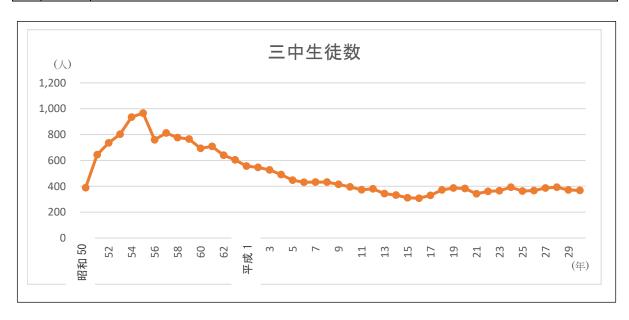
	年	事項							
	32	国立中学校の分校として開校							
	33	北多摩郡国立町立国立第二中学校となる。校章・校旗制定							
	34	校歌制定(作詞:本間一咲、作曲:生内義夫)							
	42	市制施行により、東京都国立町立国立第二中学校と校名を変更							
	43	新校舎第一期工事完了							
昭	44	体育館完成(3月)、プール完成(7月)							
和	45	新校舎第三期工事(鉄筋3階建て)完了							
	46	校内緑化整備計画始まる(植樹花壇設定等)							
	48	北校舎(特別教室)防音装置・防音改装渡り廊下完成							
	58	仮設校舎増改築工事完成(第二美術室・第三理科室)							
	61	校庭フェンス・防球ネット新設工事							
	63	電算室工事完了、創立 30 周記念式典举行							
	2	プール防球ネット工事完了							
	11	音楽室及び心の教室エアコン設置工事完了							
平	17	保健室エアコン改修工事完了							
成	18	ガス配管改修工事完了							
户 及	19	特別教室棟ベランダ手すり取替工事完了							
	19	プレハブ棟アスベスト工事完了							
	20	創立 50 周年記念式典举行、記念誌発行							
	24	通級指導学級開級							



3) 国立第三中学校(谷保出井崎 1348-1)

第二浄水場の南側の一画に建てられた。学区域は国立市の南部に位置し、谷保地区の大部分・ 富士見台の大半を含んでいる。区域の中央部よりやや北側を通る甲州街道以北は、団地などの住 宅地域であり、街道以南は水田や畑の残る田園都市地域であったが、近年、周辺農地の住宅化が進んでいる。新しい通学区域決定時、学区設定委員会の答申書の付帯事項に昭和56年度に国立第四中学校を実現することと書かれていた。(S49.12.5 市報くにたち)

	年	事項						
昭和	49	整地・校舎の建設工事着手						
	50	開校(395名、11学級)プール完成(7月)校章、校旗制定						
	51	校歌制定(作詞者:初代校長、鈴木慶城、作曲: P T A 尾野勝己)						
	53	校舎の増築工事						
	63	校庭整備工事						
	元	全天候型テニスコート工事、パソコン室整備工事、余裕教室工事						
	3	校舎大規模工事、体育館改造工事						
	4	校舎整備工事、プール改修工事						
	5	ボランティア事業協力校となる(3年間)						
	5	浄化槽撤去、本下水道接続工事						
	7	開校 20 周年記念行事、図書室床改修工事						
	16	校舎耐震工事						
	17	開校 30 周年記念行事、体育館耐震工事						
平	19	東側非常階段改修工事、西側トイレ洋式便器設備工事						
成	19	防火シャッター改修工事、パソコン機器入替						
	21	地デジ対応テレビ、校内LAN設備工事						
	23	エアコン設置工事						
	25	東京都教育委員会理数フロンティア校となる(2年間)						
		国立市教育委員会研究奨励校となる (2年間)						
	26	東京都教育委員会理数フロンティア校・国立市教育委員会研究奨励校						
		研究発表会						
	27	開校 40 周年記念行事、女子標準服リニューアル、校庭夜間照明設置工事						
	29	持続可能な社会づくりに向けた教育推進校(東京都)						





三中30年の移り変わり

【参考】

学校制度

- 1. 戦前における一般的な官立教育機関の構成(1985年頃)と戦後の学制
- 2. 小学校・中学校の戦前と戦後の学制対比(6歳から14歳)

開始時年齢	6歳	7歳	8歳	9歳	10 歳	11 歳	12 歳	13 歳	14 歳
1900(明治 33 年)	尋常小学校				高等小学校				
小学校令(第3次)	1年	2年	3年	4年	1年	2 年	3年	4年	
1907(明治 40 年)	尋常小学校					高等小学校			
小学校令一部改正	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2 年	
1941(昭和 16 年)	国民学校初等科					国民学校高等科		特修科	
国民学校令	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2 年	
1947(昭和 22 年) 小学校				学校				中学校	
学制改革(現在)	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年

旧制中学校は、(明治 19 年勅令第 15 号および明治 32 年勅令第 28 号)に基づき、各道府県に少なくとも一校以上の規定で設立された。第二次世界大戦後の学制改革までの期間存在し、高等普通教育(現在でいう後期中等教育、新制高等学校・中等教育学校後期課程の段階に相当する)を行っていた。

入学資格は尋常小学校(1941年国民学校令により国民学校初等科に移行)を卒業していることであり、修業年限は5年間であったが、1943年(昭和18年)に制定された中等学校令(昭和18年勅令第36号)によって4年間に短縮され、戦後再び5年間に戻された。

旧制中学校と類似の学校には、女子に対して中等教育を行った高等女学校、小学校卒業者に職業教育を行った実業学校がある(ただし、高等女学校や実業学校からさらに上級学校に進学するには旧制中学校より制限があった)。

出典・参考資料 ([]はくにたち図書館の請求記号)

- 1) 『くにたちの歴史』 くにたちの歴史編さん専門委員会 1995 年 [10/B1/]
- 2) 『国立市史 下巻』 国立市史編さん委員会 1990 年 [10/B1/]
- 3) 『国立市史 別巻』 国立市史編さん委員会 1992 年 [10/B1/]
- 4) 『市報くにたち 縮刷版』 1~3 国立市 1977年.1987年 [10/G5/]
- 5) 「くにたち郷土文化館 保管写真 昭和20年代から50年代」
- 6) 『国立市学校教育要覧 昭和46年度』 国立市教育委員会 1971年 [10/O0/] 『国立市学校教育要覧 平成7年度』 国立市教育委員会 1995年 [10/O0/]
- 7) 各校周年記念誌 <請求記号は全て [10/O2/]>
 - —//\

『谷保 国立市国立第一小学校創立百周年記念誌』 記念誌編集委員会 1974年 『国立市国立第一小学校創立 120 周年記念誌 わたしたちの谷保』国立第一小学校 1993 年 「創立 130 周年記念誌 谷保とともに」 国立第一小学校 2003 年<所蔵なし> 『創立 140 周年記念誌 ふるさと谷保』 国立第一小学校 2013 年

• -//

『こころ伝え 国立市立国立第二小学校 創立六十周年記念誌』 国立第二小学校 2010年

· 三小

『国立市立国立第三小学校創立40周年記念誌』 国立第三小学校 2004年

・四小

『国立市立国立第四小学校創立40周年記念誌 明日へ向かって』 国立第四小学校 1998年

• 五小

『国立市立国立第五小学校創立50周年記念誌 輝く未来へ』 国立第五小学校 2015年

• 六小

『国立市立国立第六小学校 創立40周年記念誌 矢川とともに』 国立第六小学校 2010年

・七小

『国立市立国立第七小学校 創立40周年記念誌』 国立第七小学校 2012年

• 八小

『八小やまものがたり 創立20周年記念』 国立第八小学校 1999年

「国立市立国立第八小学校 創立30周年記念誌」国立第八小学校 2008年<所蔵なし> 『国立市立国立第八小学校 創立40周年記念誌 輝く未来』 国立第八小学校 2018年

一中

『国立市立国立第一中学校 創立六十周年記念誌 躍動』 国立第一中学校 2007年

二中

『国立市立国立第二中学校 創立五十周年記念誌 時計台』 国立第二中学校 2008年

三中

『国立市立国立第三中学校 創立四十周年記念』 国立第三中学校 2015年

- 9) 『統計くにたち 第2号』 国立市企画総務部 1973年 [10/K1/]
- 10) 『町勢要覧 くにたち』 国立町役場 1958年 [10/G0/]
- 11) 『谷保かるた 昭和60年度』 国立第一小学校 1985年 [10/C2]
- 12) 『団地調べ 人口急増都市国立の場合』 国立市役所企画総務部 1972 年 [10/L2/]